

1.3 パワー・ハラスメント（用語の解説 参照）に関する人権問題

（1）現状と課題

職場における力関係を背景としたいじめの問題（パワー・ハラスメント）が、最近になって注目され始めた背景には、これまでの終身雇用制が崩れ、不況や企業合併などで経営や雇用形態が急変するなか、職場の人間関係が変化し複雑化していることが考えられます。特に中高年に対するリストラの圧力、ノルマ強化などの労働強化、能力主義や成果主義などの導入による職場環境の変化などが、働く者にプレッシャーを与え、精神的に追い込んでいる状況があります。

パワー・ハラスメントは、職場内の労働問題であるばかりでなく、受けた本人の失業や過労死へ結びつく、または、その家族まで影響が及びかねない人権問題でもあります。

今後とも国、県などの関係機関と連携しながら、その防止と被害者の救済に取り組んでいく必要があります。

（2）施策の推進方針

パワー・ハラスメントについて、市民の理解を得るために家庭、職場、地域などでの正しい認識の普及と啓発に努めます。